

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	統括部局：国際教育・協力センター	担当部局：国際教育・協力センター
大項目	7 国際交流（研究科）	
中項目		
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。	
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性	
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。	
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）	
小項目	7.0.3 国際教育・協力を適切に行っているか。	
要素	(KG1) 国際理解のための教育 (KG2) 国際協力の実践	

○2009年度からの目標

1. 海外からの推薦入試など入試制度を改革し、学部、大学院において2013年度末に定員の3%（713人）の外国人留学生を受け入れ、国際性豊かなキャンパスを実現する。そのために、宿舍提供システム整備、ワンストップサービスの提供と奨学金制度を整備する。
2. 英語による授業のみで修了できるコースを提供する大学院1コース以上設置し、世界に開かれた大学を実現する。
3. ダブルディグリー制度を、2013年度末までに5大学院で実現する。
4. 客員教授制度を改革し、2012年度から新制度による外国人教員の受入を2009年度比50%増とし、2件以上の共同研究を行う。
5. 海外留学制度の充実を図り、毎年1名以上の優秀な学生を協定大学等に派遣し、学位を獲得させる。

○指標

1. 外国人留学生数、宿舍提供数、外国人留学生へのサービス部門の整備および奨学金制度改革の有無。
2. 英語による授業のみで修了できるコースを提供する大学院数
3. ダブルディグリー制度を有する、大学院数。
4. 客員教授制度を改革の有無、客員教授受入数および共同研究数。
5. 派遣学数および学位取得学生数。